

検索ボックス

検索

[<< 小児の2024・ワクチンガイドライン | TOP | 食事の時間帯とBMI/肥満の関係 >>](#)

2024年03月01日

<< 2025年04月 >>

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

最近の記事

(04/15) [吻合部潰瘍とNSAID](#)
(04/14) [胃切除後の吻合部潰瘍・解熱鎮痛薬の影響](#)
(04/11) [急性心不全のループ利尿薬の適正化・BAN-ADHFスコア](#)
(04/09) [電子タバコは若者に有害](#)
(04/07) [不明熱](#)

最近のコメント

[鉄欠乏性貧血における鉄剤の服用](#)
by (09/13)
[23価肺炎球菌ワクチンの局所反応](#)
by (07/11)
[急性心不全のランシックスの効果減弱](#)
by (06/10)
[小児の腸重積・ロタウイルスワクチンとの関係について](#)
by (05/02)
[II型糖尿病患者にスルホニル尿素薬の有効性について](#)
by (04/19)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(267)
[循環器](#)(324)
[消化器・PPI](#)(193)
[感染症・衛生](#)(334)
[糖尿病](#)(164)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(129)
[インフルエンザ](#)(120)
[肝臓・肝炎](#)(67)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(59)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(78)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(45)
[ワクチン](#)(99)
[癌関係](#)(14)
[脂質異常](#)(32)
[甲状腺・内分泌](#)(22)
[婦人科](#)(22)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(65)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(32)
[その他](#)(105)

過去ログ

[2025年04月](#)(7)
[2025年03月](#)(13)
[2025年02月](#)(14)
[2025年01月](#)(16)
[2024年12月](#)(14)
[2024年11月](#)(12)
[2024年10月](#)(13)
[2024年09月](#)(14)
[2024年08月](#)(12)

小児の急性中耳炎にはアモキシシリン

小児の急性中耳炎にはアモキシシリン

<短 報>

Clinical Outcomes Associated with Amoxicillin Treatment for Acute Otitis Media in Children



アメリカでは小児の急性中耳炎は5歳までに80%が1回は罹患し、その中の4分の1は罹患率が3回以上です。その治療のために抗生剤を処方する事が常套です。以前の私のブログでもその際、第一選択はペニシリン系のアモキシシリンでその有効性も証明されていると記載しました。(下記参照) 今回も同様の結果が出ていますので紹介します。

- 6〜35か月の急性中耳炎に罹患した205人を対象にしています。鼻咽喉からスワブで細菌を採取し培養、PCR検査を行いました。抗生剤を処方して、5日、14日、30日の経過を保護者のアンケート調査をもとに、追跡調査しています。
- アモキシシリン群では、処方5日までに症状の改善が74.1%、症状の消失が47.3%でした。副作用は27.3%です。治療不成功は5.4%で、再発は6.8%です。一方でアモキシシリンを投与しないコントロール群は、149人においてβラクタマーゼ産生菌が65.8%認められ、この結果は当初の推測では30%の倍の頻度でした。(βラクタマーゼ産生 (Beta-lactamase production) とは、細菌がβラクタム系抗生物質に対して抵抗性を持つために産生する酵素のことです。βラクタム系抗生物質は、ペニシリンやセフェム系抗生物質などが含まれます。βラクタマーゼ産生は、細菌が抗生物質に対する耐性を獲得する一つの主要なメカニズムです。) 急性中耳炎の原因菌はモラクセラ・カタラーリス (Moraxella catarrhalis) 53%、肺炎球菌34.2%、インフルエンザ菌 (Haemophilus influenzae) 20.1%、ブドウ球菌14.1%でした。(ブドウ球菌以外は耐性菌が問題視されています) 治療不成功例をみますと、βラクタマーゼ産生菌種では5例 (5.1%)、非産生菌では3例 (5.9%) と両者に差異はありませんでした。
- 結論
小児の急性中耳炎の第一選択はアモキシシリンで、効果において菌種によるβラクタマーゼ産生の有無とは関連性はありませんでした。

私見)

小児の急性中耳炎に対する基本はアモキシシリン (ワイドシリン、サワシリン) で臨むべきで、フルスペックの治療は避けるべきかもしれません。

[本論文 中耳炎.pdf](#)[小児副鼻腔炎における比較.pdf](#)[第一選択薬はペニシリン系.pdf](#)

[2024年07月](#)(15)
[2024年06月](#)(14)
[2024年05月](#)(14)
[2024年04月](#)(12)
[2024年03月](#)(14)
[2024年02月](#)(13)
[2024年01月](#)(19)
[2023年12月](#)(17)
[2023年11月](#)(13)
[2023年10月](#)(15)
[2023年09月](#)(12)
[2023年08月](#)(16)
[2023年07月](#)(15)
[2023年06月](#)(14)
[2023年05月](#)(15)
[2023年04月](#)(15)
[2023年03月](#)(15)
[2023年02月](#)(14)
[2023年01月](#)(15)
[2022年12月](#)(12)
[2022年11月](#)(16)
[2022年10月](#)(15)
[2022年09月](#)(13)
[2022年08月](#)(17)
[2022年07月](#)(13)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

0

0

いいね！

ポスト

ブックマーク

【小児科の最新記事】

[電子タバコは若者に有害](#)
[鳥インフルエンザに注意すべき事](#)
[血球食食性リンパ組織球症](#)
[小児へのワクチンの筋肉内注射](#)
[アメリカにおけるジェネリック薬品の不足](#)

posted by 斎賀一 at 19:24 | [小児科](#)

